



8月はコロナ対応について様々なご協力をいただきありがとうございました。

第5波は未就学児の感染も多く、まだまだ感染状況は落ち着かない状況です。9月もご協力をいただきながらの開園となりますが、引き続き感染対策に気を付けながら保育を行います。残暑もあり、体調を崩さないように気を付け、たっぷり睡眠をとって休息しましょう。

子どものコロナウイルスについて



7月から急増しているコロナウイルス感染症ですが、第5波に入り子どもの感染者が急増しています。

8月30日時点で大阪では、未就学児(0~6歳)が一週間で罹るコロナ感染者は、900人/週を上回っています。子どもは大人に比べて罹りにくい、罹っても軽症か無症状の場合が多いといわれていましたが、今は全年代誰がかかるか分からず、重症者も若年化している現状です。

コロナの症状

発熱、咳、咽頭痛などの風邪症状や、軟便・下痢などの消化器症状、嗅覚や味覚障害、頭痛や倦怠感のみという場合もあり。無症状の方も3割程いるといわれています。

子どものコロナ後遺症に関しては、まだ明らかになっていないことも多いですが、今後様々な変異株の状況で感染力や症状、後遺症など、どう変化していくかはわかりません。

コロナウイルスに関して、園からのお願いや感染対策については、これまでコドモンで配信しております内容をご確認いただくようお願いいたします。

以下は、質問が多い内容や再度ご確認ください内容を記載します。

- ・発熱の有無に関わらず風邪症状や軟便・下痢症状がある場合は登園を控えていただくようお願いいたします。
 - ・症状がみられましたら次の登園までに受診し、登園可能か受診内容をお知らせください。
 - ・ご家族が体調不良の場合も、登園を控えていただき、症状の詳細もお知らせください。
- 園児同様、ご家族が発熱の場合は、解熱後24時間は登園をお控え下さい
- ・抗原検査をすることになった場合も、PCR検査同様すみやかにご連絡をお願いいたします。
 - ・体調の変化を早期に気づくためにも検温は朝夕の2検し、健康観察カードにご記入をお願いします。



※当園の対策は厚生労働省や吹田市の保育園方針に基づいて行っています



8月に多かった症状



8月は乳児クラスを中心に、下痢や軟便症状の方が多く見られました。

9月に入り、暑さは少し落ち着きますが、まだまだ食中毒もなりやすい時期で、今後涼しくなるとノロ・ロタウイルスなどの感染性胃腸炎が流行してきます。また、コロナウイルスは、消化器症状が出ることもあります。

子どもは下痢や嘔吐で容易に脱水しやすく、特に気候が暑い時はリスクも高まります。

保育園では、感染対策をしていますが、ウイルスの飛沫などで感染が拡大しやすいため、症状があれば受診し、休息をとり早く回復できるようにしましょう。